体育科学習指導案

指導者　広島市立○○小学校
教諭　○○　○○

1　学年　　第４学年○組

2　日時　　平成２２年１１月○日

3　場所　　体育館

4　単元名　ゲーム「つないで，つないで，プレルボール」

5　単元について

○　ネット型ゲームは，ネットで区切られたコートの中で攻防を組み立て，競い合うゲームである。中学年のゲームでは，ボールをつないだり，ラリーを続けたりして易しいゲームをすることが大切である。
　学習内容としては，「基本的なボール操作」「状況判断」「連携のための声かけ」の３つが柱となると考える。
　本単元では，ボールをはじく基本操作，パス・返球・攻撃の状況判断，また，連携してボールをつないだりラリーを続けたりするための声かけを身に付けさせた　い。そして，これらの課題解決を容易にするために，プレルボールを取り入れることとする。プレルボールは，ドイツで考案された，バレーボールに似たネット型ゲームである。基本的には，ボールを手で打ってバウンドさせ，決められた回数内で相手コート内に返せるように攻めたり守ったりして，得点を競い合う。バウンドさせることにより，バレーボールに比べてボールを扱うまでに時間的余裕ができる。この時間的余裕が基本操作，状況判断を容易にするものと考える。

○　第３学年では，ネット型ゲームは経験していない。本単元が初めてのネット型ゲームである。
　本学級の児童は，明るく，元気で，たいへん活発である。全員が運動することの良さを理解し，休憩時間の全員遊びも全員笑顔で参加している。また，体育の授業については，ほとんどが好きで，きらいな児童は２名である。とくに球技が好きという児童はほぼ全員に近く，きらいな児童は１名である。
　さらに，バレーボールについては，経験したことがある児童が７名いるが，苦手意識を持つ児童も３名いる。そのほとんどが，ボールをついて操作する，ということが難しいため，「うまくいかない」という思いをもっている。

○　本単元の前半では，床にボールを打ちつけてはずませる基本操作，低いネットを越して相手コートにボールを返す，などのラリーを続ける動きを中心に，後半では相手コートに向かって，相手が捕りにくいようなボールを返す動きも加えて，チームごとに作戦を立ててゲームに臨めるようにしたい。
　そのためにタスクゲームは，味方同士の連携を構築させ，運動量を確保するために各チームを２人ずつに分けて，２回以上で返球する，というルールで行う。その中でタスクゲームでボールをつなぎ，ラリーを長く続けられるようにするためにはルールを工夫することが大切であることに気付かせ，２人が互いにラリーを続けることを意識して動けるようにする。
　また，ドリルゲームを通して，ボールを打ちやすい場所に動くことを意識させるとともに基本的なボール操作を身に付けさせるために，準備運動とドリルゲームを工夫する。
　さらに「よい動き」や「よい声かけ」を積極的に取り上げ，全体に広げ，個々の伸びを見つけ，お互い認め合うように促す。

6　単元の目標

○　進んで声をかけ合いながら，運動に取り組み，規則を守り，友達の良いところを賞賛したり、失敗を励ましたりして、素直にゲームの勝敗を認めようとする。
○　自分たちに合った規則を工夫したり，簡単な作戦を立てたりすることができる。
○　目的に応じたボール操作ができるとともに。つながりを意識し，ラリーを続けるための動きができるようにし，楽しく運動ができるようにする。

7　評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
・　友達と協力して練習やゲームをしたり、勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ・　パスをつないだり，ラリーを続けるための声かけをすることができる。	・　プレルボールの行い方を知るとともに，易しいゲームを行うための規則を選んでいる。 ・　ラリーが続く方法を知るとともに簡単な作戦を立てている。	・　片手や両手ではじく，床に打ちつける角度を調整するなどの基本的なボール操作ができる。 ・　ラリーを続けたり，ボールをつないだりするための動きできる。

9　本時の目標（３／８時間目）

○　ラリーが続く方法がわかる。
○　目的に応じたボール操作をすることができる。
○　前時よりも声を掛け合い，連携をとったり励まし合ったりすることができる。

10　準備物
ソフトバレーボール　得点板　作戦板　電子タイマー　ビブス　バドミントンネット

11　本時の指導過程と評価

学　習　活　動	教師のはたらきかけ	評価の観点	評価方法
1　準備・準備運動 両手→片手パー→片手グー→高く→壁打ち	・跳ね返り方や角度と跳び方を確認しながらボールを操作させる。		
2　ドリルゲーム バウンドラリー（１対１で１曲（１分少し）の間に何回ラリーできるか）	・声を掛け合うことを意識させる。 ・よい動きを見つけ，言葉かけをする。	・声を掛け合って運動している。	観察
3　本時の課題を確認する			
パスをつないでラリーをしよう			
4　試合と作戦タイム タスクゲーム① （３分×２セット） チーム練習・話し合い タスクゲーム② （３分×２セット）	・学習課題を意識した動きを見つけ，賞賛する。 ・声を出すことの重要性を意識させる。 ・ゲームをふり返り，ラリーを続ける方法を考えさせる。 ・学習課題を意識した練習をさせる。	・ラリーを続ける方法がわかる。 ・目的を意識してボールを打つことができる。 ・声を掛け合ったり，協力してゲームや話し合いをすることができる。	観察 観察 観察
5　チーム・全体のふり返り	・チームでできたことやよかったプレーを発表させる。		